

彗星導入機能 <設定手順>

彗星の軌道要素を入力できます。一般の天文資料より得られる軌道要素をそのまま入力することで、彗星の表示（導入）に対応できるようになります。また、このデータをもとに自動導入に対応いたします。

※ 彗星を厳密に追尾するものではなく、自動導入のみに対応しています。

入力の際に必要なもの

- ・STAR BOOK-TypeSコントローラー本体
- ・STAR BOOK-TypeSセットを動作できる電源（電池を利用する場合は新品電池を使用してください）
- ・データを転送するパソコン（LANが無い場合はLANカードも必要）
 - ※ LANカードについては、LANカードもしくはパソコンに付属の説明書でご確認ください。
- ・クロスLANケーブル

手順

- ① パソコンおよびSTAR BOOK-TypeSの電源を入れる前に、パソコンとSTAR BOOK-TypeSをクロスLANケーブルで接続します。

※クロスLANケーブルのパソコン側接続については、パソコンに付属の説明書でご確認ください。

- ② STAR BOOK-TypeSの電源を入れます（電源コードを繋ぐだけで電源が入ります）。

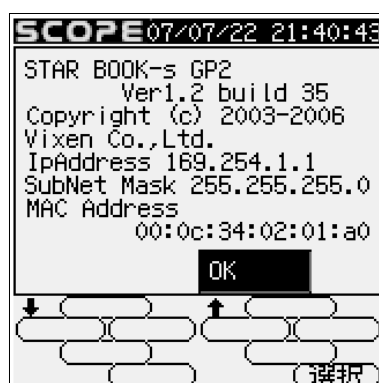
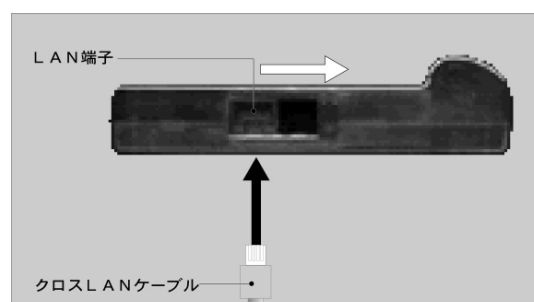
- ③ パソコンの電源を入れます。

- ④ パソコンおよびSTAR BOOK-TypeSが自動的にネットワークの接続情報を取得するので、そのまま1分間お待ちください。

- ⑤ STAR BOOK-TypeSのメニューの中から「STAR BOOK-sについて」を選択し、下記の内容が表示されることを確認してください。

- ・IP Address: 169.254.a.b (a,bは任意の数字)
- ・SubNet Mask: 255.255.0.0

※パソコンとSTARBOOK-TypeSを1対1で接続していない場合は、IP Addressの表示が異なる場合があります。



彗星データの入力方法

例：マックノート彗星のデータを入力します。

符号	2006 P1	近日点距離 (q)	0.170729 AU
名前	McNaught	軌道傾斜角 ()	77.8349°
名前 (日本名)	マックノート彗星	昇交点黄径 (Ω)	267.4147°
近日点通過時刻 (T)	2007 年 1 月 12.7969 日	離心率 (e)	1.000022
近日点引数 (ω)	155.9755°		

Epoch=2007年1月20.0日

- ⑥ パソコンのインターネットブラウザを開きます。手順⑤で確認したSTAR BOOK-TypeSのIPアドレスを、アドレスバーに入力して画面を表示させてください。次の画面が表示されます。

<例> 169.254.1.1の場合

↓
http://169.254.1.1

登録彗星一覧を左クリックすると、登録彗星一覧画面になります。

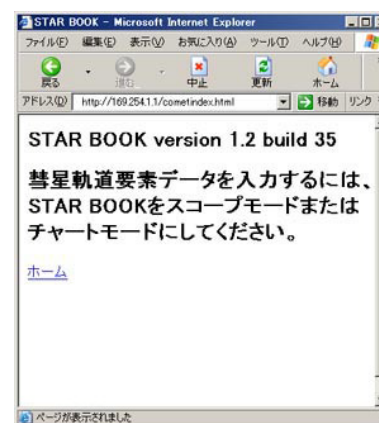


登録彗星一覧を左クリック



登録彗星一覧画面

※STAR BOOK-TypeSが星空画面表示となっていない場合、右のようにエラーが表示されます。この場合は、STAR BOOK-TypeSを星空画面表示とした後で、改めてIP Addressを入力してください。



エラー画面

⑦-A 直接入力

登録彗星一覧画面で11番以降のNoを左クリックすると、右の軌道要素入力画面となります。

軌道要素入力画面

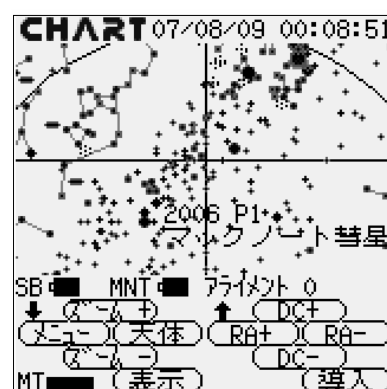
⑧-A 彗星データを元に数値を入力します。

数値を入力中

⑨-A 全てのデータを入力後、「データ更新」を左クリックして完了です。
以降、画面に彗星が表示されるようになります。

更新後の画面

No.	符号	彗星名	No.	符号	彗星名
1	-	-	11	2006 P1	マックノート彗星
2	-	-	12	-	-
3	-	-	13	-	-
4	-	-	14	-	-
5	-	-	15	-	-
6	-	-	16	-	-
7	-	-	17	-	-
8	-	-	18	-	-
9	-	-	19	-	-
10	-	-	20	-	-



表示例

⑦-B 軌道要素をファイルから登録

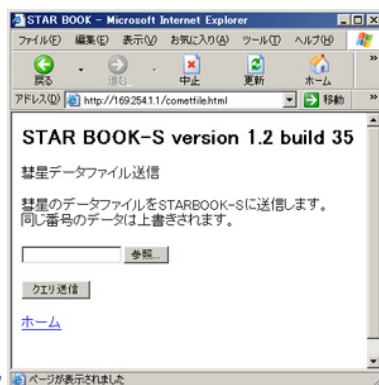
予め弊社にて用意したファイルを利用することで、個別の数値を入力することなく彗星の軌道要素を登録できます。
(2007/06現在、ファイルをご用意しておりません)

登録彗星一覧画面で「軌道要素をファイルから登録」を左クリックすると、クエリ送信画面となります。

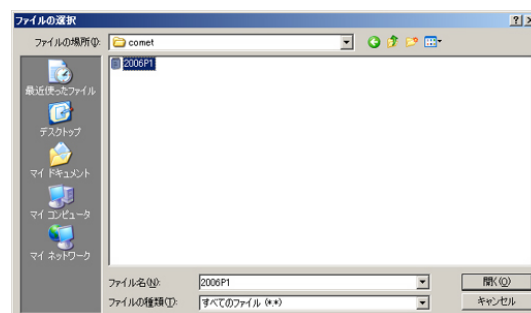


登録彗星一覧

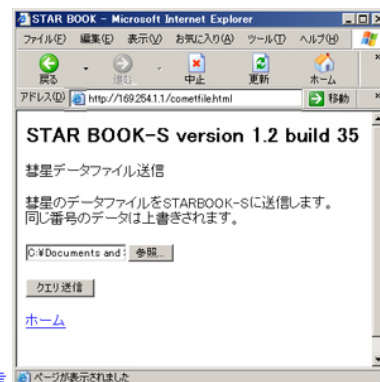
⑧-B 「参照」を左クリックし、予めダウンロードしておいたファイルを指定します。



「参照」を左クリック

ファイルの場所
(一般のホルダーに2006P1というファイルを用意した例)

⑨-B 上記⑧-Bでファイルを開くと右のような画面となりますので「クエリ送信」を左クリックして送信してください。軌道要素が入力されます。

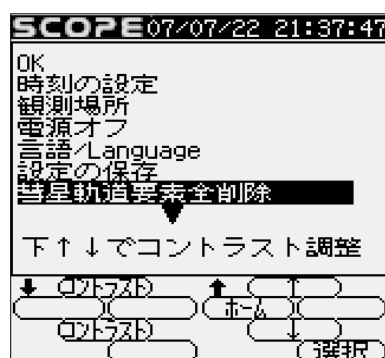


クエリ送信

データを消去する場合は、消去するデータのNoを選択後、「データ消去」を左クリックします。右のダイアログが表示されますので、OKを選択すると消去されます。



全データを一括消去する場合は、STAR BOOK-TypeSを起動後に表示されるメニューにて消去できます。電源を入れた後「↑」「↓」キーで「彗星軌道要素全削除」を選び「選択」キーを押すと、以下のダイアログが表示されます。「←」「→」キーで「はい」を選び「選択」キーを押すと、彗星データが全て消去されます。



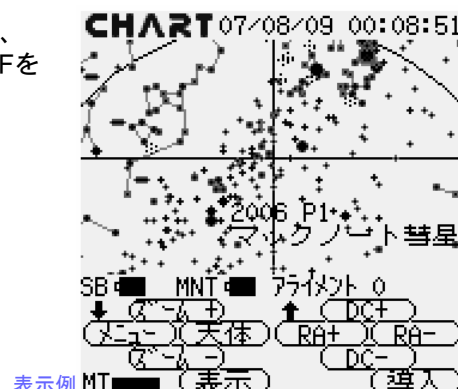
※上記の方法で通信がうまくいかない場合は、パソコンの設定変更を行ってください(Windows XPの場合Administrator権限が必要です)。
設定変更の方法は、ビクセンwebサイト内の以下の箇所を参考にしてください。

[「GP2、GPD2 STAR BOOK-TypeSアップデート情報」ページ](#)内の
「アップデートの手順」
＞「ダウンロードと手順」
＞「上記の方法で上手くいかない場合」

Vixen

彗星導入機能 <導入方法>

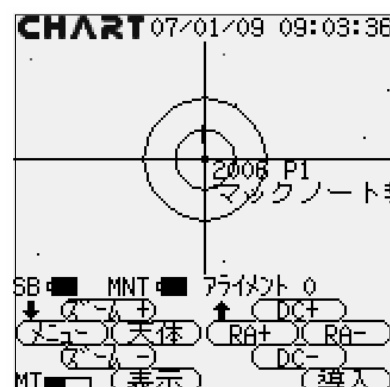
軌道要素を入力した彗星をSTAR BOOK-TypeSの星図画面上に表示し、自動導入することができます。また、設定により彗星表示のON、OFFを選ぶことができます。



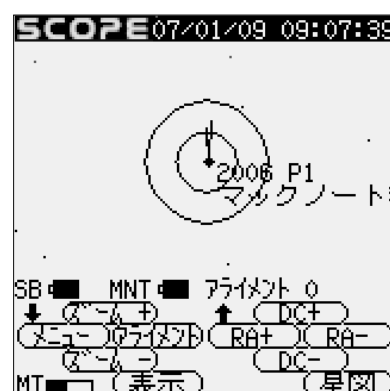
彗星の導入方法1－星図上で指定する－

※アライメント設定方法、一般天体の自動導入方法、ピントの合わせ方などについてはGP2・GPD2赤道儀説明書、鏡筒説明書をお読みください。

- ① アライメント設定を完了し、天体を自動導入ができる状態にします。
- ② 低倍率の接眼レンズに差替えて星にピントを合わせます。
- ③ CHART MODEにて画面上にある彗星をSTAR BOOK-TypeSの十字線中央に導入します(*1)(*2)。



- ④ 導入ボタンを押すと、望遠鏡の視野に目標の彗星が導入されます(*3)。



導入完了

*1… 彗星メニューで彗星が非表示となっている場合は、星図上に彗星が表示されません。「彗星の導入方法2－メニューで指定する－」で行ってください。

*2… 尾の長さや向きはあくまで予測によるもので、実際の見え方とは異なる場合があります。

*3… 彗星の軌道要素には不確定要素が含まれており、また彗星の性質上、予測できない動きをすることがありますので、視野の中央に彗星が導入できないことがあります。ご了承ください。

彗星の導入方法2-メニューで指定する-

CHART MODEにて「天体」キーを押すと天体メニューが表示されますので、ここから「彗星」を選択します。

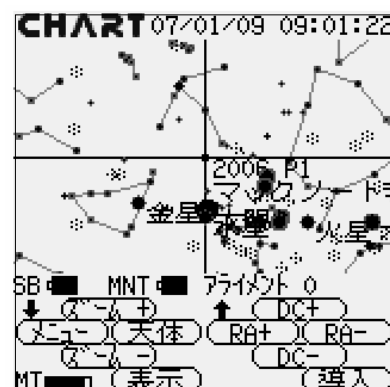


天体メニュー



「彗星」を選択

彗星を選択後「選択」キーを押すと彗星画面になりますので、「↑」「↓」キーで見たい彗星を選択します。
「選択」キーを押すと次の画面を経由し、目標の彗星をSTAR BOOK-TypeS画面中央に表示できます。そのまま「選択」キーを押して彗星を自動導入することができます。



導入完了

なお、彗星画面表示中、該当する彗星を選択して「↑」「↓」キーを押すと彗星の表示・非表示を選択できます。

表示の設定を保存するには「メニュー」キーからメニュー画面を表示後、「設定の保存」を選んでください。以後、設定された内容が次回より反映されます。



「表示」「非表示」を選択